

意欲ある学生が国内外から集う大学に

「学びたい」をあらゆる面からサポート

大学院学生への支援

2021年10月、「大学院教育支援機構」を新たに設置し、主に博士後期課程への進学を望む学生への支援を始めています。優秀で意欲のある学生が広く国内外から本学に集い、切磋琢磨していくには、就学による大きな経済的負担を緩和すること、将来のキャリアパスが明確になっていること、そしてそこに繋げるための教育機会や支援が提供されていることが不可欠です。当機構では、大学院共通・横断教育の実施および企画・運営の統括、各種大学院横断教育プログラムの支援および質の保証、大学院生に対する経済支援の管理など、加速が必要な重点的課題に、全学体制で取り組んでいます。

学生相談支援体制の強化

京都大学では、2022年度に「学生相談部門」と「障害学生支援部門」で構成される「学生総合支援機構」を新たに設置しました。このうち、学生相談部門では、各キャンパス（吉田〈本部構内、吉田南構内、北部構内〉、桂、宇治）に教員および専門スタッフで構成する相談室を設け、人間関係、性格、修学、就職など、学生生活上の様々な悩みの相談を一元的に受け付けています。併せて設置した統括相談室では、各相談室の相談員をサポートするとともに、各相談室に来談する学生のメンタルヘルス上の問題の早期発見に努め、医療への連携をサポートしています。さらには、学生からの個別相談のみならず、学生相談・支援に係る研修の企画や、ケース・コンサルテーションの実施により、各部署で教職員が行っている学生支援を大学としてサポートしています。

※「障害学生支援部門」の取組については、「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン」（→10ページ）をご覧ください。



優秀な留学生誘致の積極策

我が国には企業や大学における先端的研究・開発が英語以外の言語で行われるという特性があり、特に学部には優秀な留学生を呼び込むうえで課題となっていました。京都大学が実施するKyoto iUP (Kyoto University International Undergraduate Program) では、入学者選抜で日本語能力を一切問わず、入学前から日本語の習得などを徹底的にサポートすることで、留学生が学部卒業レベル（あるいは修士課程や博士後期課程修了レベル）の専門知識を日本語で獲得できるよう育成しています。この取組によって、単に言葉の壁を取り除き、留学生の学部段階での受入れを拡充するだけでなく、グローバル展開を図る日本企業および日本経済そのものを牽引する、極めて高度な外国人材の輩出と日本社会への定着に貢献していきます。



Program

卓越大学院プログラム www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/educational-program

「卓越大学院プログラム」とは、文部科学省が2018年度より公募を開始したプログラムで、各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業などと組織的な連携を行い、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流および新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。

京都大学では「先端光・電子デバイス創成学」「メディカルイノベーション大学院プログラム」「社会を駆動するプラットフォーム学」の三つが採択されており、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材を中心とする高度な「知のプロフェッショナル」の育成に取り組んでいます。



先端光・電子デバイス創成学



メディカルイノベーション大学院プログラム



社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム